

平成16年8月31日
沖縄総合事務局
沖縄県

2003 / 2004 沖縄における道路行政の 達成度報告書 / 業績計画書¹ の策定

～ 道路行政マネジメント・サイクル²がはじめて一巡します～

沖縄総合事務局と沖縄県においては、平成15年度策定した「沖縄における道路事業業績計画書」について、各アウトカム指標³の達成度を評価（達成度報告書）し、その結果を踏まえ平成16年度の目標をまとめた「業績計画書」を策定しました。

主なアウトカム指標の達成度

1. 道路渋滞による損失時間

渋滞状況を調査しているモニタリング区間⁴において、バイパス等の供用（豊見城東道路、石川バイパス、読谷道路、沖縄都市モノレール等）により、渋滞損失時間が約6%削減されました。

2. ETC利用率

ETCを利用することにより、料金所渋滞緩和、環境負荷の低減効果が図られます。平成15年度に沖縄自動車道の全ICにETC料金所が整備されましたが、ETC利用率は、1.0%から1.6%（全国最下位）までしか上がらず、目標値の5%を達成することができませんでした。

3. 道路交通における死傷事故率

交差点改良などの交通安全事業を実施した個所は、死傷事故件数が大幅に削減されましたが、全体死傷事故件数は、前年に比べて約6%増加しており、死傷事故率としては、目標値を達成することができませんでした。

平成16年度以降の取り組み方針

1. 平成16年度は、平成15年度の達成度の結果を踏まえ、引き続き中期（平成19年度）目標である目標値達成に向けて努力してまいります。
2. 平成16年度は、平成15年度に設定した12のアウトカム指標を引き続き継続し、新規で県民のニーズの高い電線類の地中化を推進するため、無電柱化整備率を追加し13のアウトカム指標を設定しました。

3. 達成度報告書・業績計画書は毎年度作成しますが、今後とも、見直し等を行いより沖縄の特性や実状に合ったものにしたいと考えております。以下のホームページで公表しておりますので意見等をお寄せ下さい。

達成度報告書・業績計画書は、ホームページに掲載しています。

ホームページアドレス <http://www.road.dc.ogb.go.jp>

1 達成度報告書・業績計画書とは

前年度に策定したテーマごとの目標について、アウトカム指標を用いて達成度を確認(達成度報告書)し、その結果や反省を当年度の道路行政に反映(業績計画書)するものです。

2 マネジメント・サイクル

毎年度、事前に数値目標を定め、事後に達成度を評価し、評価結果を以降の行政運営に反映する過程

3 アウトカム指標とは

施策・事業を実施するにあたり、発生した効果・成果(アウトカム)を表す指標を意味します。

4 モニタリング区間

渋滞損失を算定するために毎年度継続して調査している区間(平成15年度は、那覇都市圏の国道を主体に約106km(県道以上の延長の約8%)を設定)

問い合わせ先

沖縄総合事務局 道路建設課(TEL098-866-0091)

道路建設課長 松浦 利之

道路計画調整官 當山 全浩

沖縄県 道路建設課(TEL098-866-2390)

道路建設課長 伊波 興静

課長補佐 砂川 勝彦